

(0800001005-0)

市 長		副 市 長		建 設 部 長		財 政 課 長		主 管 課 長		課 長 補 佐		検 査 者		設 計 者	
--------	--	-------------	--	------------------	--	------------------	--	------------------	--	------------------	--	-------------	--	-------------	--

委 託 番 号				設 計 年 月 日		令和 8 年 7 月 1 日	
委 託 箇 所		富谷市 市内一円 地内					
路 線 ・ 河 川 名							
令和 8 年度 令和8年度 (仮称) 成田二期北土地地区画整理事業に伴う下水道管路施設基本設計業務 富谷市							
工 期	令和 年 月 日			着 工 期 日		令和 年 月 日	
	令和 9 年 3 月 31 日			竣 工 期 限		令和 9 年 3 月 31 日	
業 務 費	円 (消費税相当額 円)					業 務 価 格 円	

< 概 要 >

下水道管路施設基本設計業務
基本設計 管路施設 A=12ha (2, 400m×50m=120, 000m²)
マンホール形式ポンプ場 N=3箇所
測量 基準点測量 N=4点
路線測量 L=2. 4km

委 託 料 内 訳 表					
費目 ・ 工種 ・ 細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
設計	式	1			第1号業務内訳表
測量	式	1			第2号業務内訳表
業務価格	式	1			
消費税等相当額	式	1			
業務委託料	式	1			

第 1 号 の 1 業 務 内 訳 表

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
設計	式	1			
設計業務	式	1			
直接原価	式	1			
施設（管路）	式	1			
設計協議（基本設計） 管路施設基本設計 業務内容が平易な場合	業務	1			第1号単価表
報告書作成（基本設計） 管路施設基本設計	業務	1			第2号単価表
分流式（汚水のみ）（基本設計） 管路施設実施設計 対象面積12（ha）	業務	1			第3号単価表
マンホール形式ポンプ場（2次製品） 基本設計 ポンプ場3個	業務	1			第4号単価表
直 接 費	式	1			
直接人件費	式	1			

第 1 号 の 2 業 務 内 訳 表

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接経費	式	1			
電子成果品作成費	式	1			第1号明細表
その他原価	式	1			
業務原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
業務価格	式	1			

第 2 号 の 1 業 務 内 訳 表

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量	式	1			
測量業務	式	1			
直接測量費	式	1			
基準点測量	式	1			
4級基準点測量 新点 永久標識設置なし 耕地 平地	点	4			第5号単価表
路線測量	式	1			
路線測量 作業計画	業務	1			第6号単価表
路線測量 仮BM設置測量 0～1,000台未満/12時間 耕地 平地	km	2.4			第7号単価表
路線測量 縦断測量 0～1,000台未満/12時間 耕地 平地	km	2.4			第8号単価表
路線測量 横断測量 0～1,000台未満/12時間 曲線数:0 耕地 平地	km	2.4			第9号単価表

第 2 号 の 2 業 務 内 訳 表

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接測量費	式	1			
直接経費	式	1			
安全費	式	1			
電子成果品作成費	式	1			第2号明細表
直接業務費計	式	1			
諸経費	式	1			
測量作業費	式	1			
測量作業価格	式	1			

第1号

電子成果品作成費 1式当たり明細表

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
電子成果品作成費	式	1				
合 計	式	1				

第2号

電子成果品作成費 1式当たり明細表

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
電子成果品作成費	式	1				
合 計	式	1				

第1号 CIS0100 A02		設計協議(基本設計) 1業務当たり単価表				管路施設基本設計 業務内容が平易な場合	
名称 ・ 規格 ・ 条件		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
第1回打合せ(基本設計) 設計協議		回	1				第10号単価表
中間打合せ(基本設計) 設計協議		回	1				第11号単価表
最終打合せ(基本設計) 設計協議		回	1				第12号単価表
合 計		業務	1				
業務内容A = 02 平易な場合			中間打合せ回数(回)B = 3				

第2号 CIS0090 J01		報告書作成(基本設計) 1業務当たり単価表				管路施設基本設計	
名称 ・ 規格 ・ 条件		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師 9～10級		人					
技師 (A) 8級		人					
技師 (B) 6～7級		人					
技師 (C) 4～5級		人					
合 計		業務	1				
作業項目の補正 (%) A = 100							

第3号 CIS0030 J02						分流式(汚水のみ)(基本設計) 1業務当たり単価表		管路施設実施設計 対象面積12 (ha)			
名称 ・ 規格 ・ 条件		単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
[調査]資料収集(基本設計) 分流式(汚水のみ) 対象面積12 (ha)		式	1							第13号単価表	
[調査]地下埋設物調査(基本設計) 分流式(汚水のみ) 対象面積12 (ha)		式	1							第14号単価表	
設計計画(基本設計) 分流式(汚水のみ) 対象面積12 (ha)		式	1							第15号単価表	
流量断面計算(基本設計) 分流式(汚水のみ) 対象面積12 (ha)		式	1							第16号単価表	
概略工法検討(基本設計) 分流式(汚水のみ) 対象面積12 (ha)		式	1							第17号単価表	
図面作成(基本設計) 分流式(汚水のみ) 対象面積12 (ha)		式	1							第18号単価表	
照査(基本設計) 分流式(汚水のみ) 対象面積12 (ha)		式	1							第19号単価表	
合 計		業務	1								
対象面積 (ha) A = 12										設計計画の補正 (%) F = 100	
[調査]資料収集の補正 (%) B = 100										流量断面計算の補正 (%) G = 100	
[調査]現地踏査の補正 (%) C = 0										概略工法検討の補正 (%) H = 100	
[調査]地下埋設物調査の補正 (%) D = 100										図面作成の補正 (%) I = 100	
[調査]公私道調査の補正 (%) E = 0										照査の補正 (%) J = 100	

第4号 CIS0670 J01 マンホール形式ポンプ場(2次製品) 1業務当たり単価表 基本設計 ポンプ場3個						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
設計計画(新設・詳細設計) マンホール形式ポンプ場(2次製品) ポンプ場3個	式	1				第20号単価表
各種計算(新設・詳細設計) マンホール形式ポンプ場(2次製品) ポンプ場3個	式	1				第21号単価表
設計図作成(新設・詳細設計) マンホール形式ポンプ場(2次製品) ポンプ場3個	式	1				第22号単価表
数量計算(新設・詳細設計) マンホール形式ポンプ場(2次製品) ポンプ場3個	式	1				第23号単価表
照査(新設・詳細設計) マンホール形式ポンプ場(2次製品) ポンプ場3個	式	1				第24号単価表
合 計	業務	1				
マンホール形式ポンプ場個数(個) A = 3 設計計画の補正(%) B = 25 各種計算の補正(%) C = 25			設計図作成の補正(%) D = 25 数量計算の補正(%) E = 25 照査の補正(%) F = 25			

4級基準点測量 1点当たり単価表						
第5号 SC102040 J03		新点 永久標識設置なし 耕地 平地				
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
作業計画 4級基準点測量 伐採なし 耕地 平地	点	1				第25号単価表
選点 4級基準点測量 伐採なし 耕地 平地	点	1				第26号単価表
観測 4級基準点測量 伐採なし 耕地 平地	点	1				第27号単価表
計算整理 4級基準点測量 伐採なし 耕地 平地	点	1				第28号単価表
合 計	点	1				
作業計画の有無A = 01 計上する 選点の有無B = 01 計上する 伐採の有無C = 02 計上しない 観測の有無D = 01 計上する			計算整理の有無E = 01 計上する 地域F = 05 耕地 地形G = 01 平地			

路線測量 作業計画 1業務当たり単価表						
第6号 SC104010 J01	名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑 摘 要
	測量主任技師 8級	人				
	測量技師 6～7級	人				
	測量技師補 3級	人				
	合 計	業務	1			

第7号 SC104080 J03 路線測量 仮BM設置測量 1km当たり単価表 0～1,000台未満/12時間 耕地 平地						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測定設置 路線測量 仮BM設置測量 耕地 平地	km	1				第29号単価表
計算 路線測量 仮BM設置測量 耕地 平地	km	1				第30号単価表
点検整理 路線測量 仮BM設置測量 耕地 平地	km	1				第31号単価表
合 計	km	1				
測定設置の有無A = 01 計上する 計算の有無B = 01 計上する			地域D = 05 地形E = 01	耕地 平地		
点検整理の有無C = 01 計上する			交通量F = 01	0～1,000台未満/12時間		

第8号 SC104090 J01 路線測量 縦断測量 1km当たり単価表 0～1,000台未満/12時間 耕地 平地						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
観測 路線測量 縦断測量 耕地 平地	km	1				第32号単価表
縦断面図作成 路線測量 縦断測量 耕地 平地	km	1				第33号単価表
点検整理 路線測量 縦断測量 耕地 平地	km	1				第34号単価表
合 計	km	1				
観測の有無A = 01 計上する 縦断面図作成の有無B = 01 計上する			地域D = 05 地形E = 01	耕地 平地		
点検整理の有無C = 01 計上する			交通量F = 01	0～1,000台未満/12時間		

第9号 SC104100 J03 路線測量 横断測量 1km当たり単価表 0～1,000台未満/12時間 曲線数:0 耕地 平地						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
観測 路線測量 横断測量 耕地 平地	km	1				第35号単価表
横断面図作成 路線測量 横断測量 耕地 平地	km	1				第36号単価表
点検整理 路線測量 横断測量 耕地 平地	km	1				第37号単価表
合 計	km	1				
観測の有無A = 01 計上する 横断面図作成の有無B = 01 計上する 点検整理の有無C = 01 計上する 地域D = 05 耕地 地形E = 01 平地			交通量F = 01 測点間隔H = 05 測量幅I = 01	0～1,000台未満/12時間 0 100m 45m未満		
			単曲線換算曲線数(箇所/km)G = 01			

第10号 CIS0110 J01 第1回打合せ(基本設計) 1回当たり単価表 設計協議						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師 9～10級	人					
技師（A） 8級	人					
合 計	回	1				
作業項目A = 01 第1回打合せ			業務内容B = 02	平易な場合		

第11号 CIS0110 J02

中間打合せ(基本設計) 1回当たり単価表

設計協議

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
技師 (A) 8級	人					
技師 (B) 6～7級	人					
合 計	回	1				
作業項目A = 02 中間打合せ			業務内容B = 02	平易な場合		

第12号 CIS0110 J03

最終打合せ(基本設計) 1回当たり単価表

設計協議

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師 9～10級	人					
技師（A） 8級	人					
合 計	回	1				
作業項目A = 03 最終打合せ			業務内容B = 02	平易な場合		

第13号 CIS0040 J08		[調査]資料収集(基本設計) 1式当たり単価表			分流式(汚水のみ) 対象面積12(ha)	
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師 9～10級	人					
技師 (A) 8級	人					
技師 (B) 6～7級	人					
技師 (C) 4～5級	人					
合 計	式	1				
作業項目A = 01 [調査]資料収集 対象面積(ha)B = 12			作業項目の補正(%)C = 100			

第14号 CIS0040 J09		[調査]地下埋設物調査(基本設計) 1式当たり単価表			分流式(汚水のみ) 対象面積12(ha)	
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師 9～10級	人					
技師 (A) 8級	人					
技師 (B) 6～7級	人					
技師 (C) 4～5級	人					
技術員 3級	人					
合 計	式	1				
作業項目A = 03 [調査]地下埋設物調査 対象面積(ha)B = 12			作業項目の補正(%)C = 100			

第15号 CIS0040 J10			設計計画(基本設計) 1式当たり単価表				分流式(汚水のみ) 対象面積12(ha)					
名称 ・ 規格 ・ 条件			単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
理事・技師長 11級			人									
主任技師 9～10級			人									
技師 (A) 8級			人									
技師 (B) 6～7級			人									
技師 (C) 4～5級			人									
合 計			式	1								
作業項目A = 05 設計計画 対象面積(ha)B = 12					作業項目の補正(%)C = 100							

第16号 CIS0040 J11		流量断面計算(基本設計) 1式当たり単価表			分流式(汚水のみ) 対象面積12(ha)	
名称 ・ 規格 ・ 条件		単位	数 量	単 価	金 額	雑 摘 要
主任技師 9～10級		人				
技師 (A) 8級		人				
技師 (B) 6～7級		人				
技師 (C) 4～5級		人				
技術員 3級		人				
合 計		式	1			
作業項目A = 06 流量断面計算 対象面積(ha)B = 12				作業項目の補正(%)C = 100		

第17号 CIS0040 J12		概略工法検討(基本設計) 1式当たり単価表			分流式(汚水のみ) 対象面積12(ha)	
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
理事・技師長 11級	人					
主任技師 9～10級	人					
技師 (A) 8級	人					
技師 (B) 6～7級	人					
技師 (C) 4～5級	人					
技術員 3級	人					
合 計	式	1				
作業項目A = 07 概略工法検討 対象面積(ha)B = 12			作業項目の補正(%)C = 100			

第18号 CIS0040 J13		図面作成(基本設計) 1式当たり単価表			分流式(汚水のみ) 対象面積12(ha)	
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師 9～10級	人					
技師 (A) 8級	人					
技師 (B) 6～7級	人					
技師 (C) 4～5級	人					
技術員 3級	人					
合 計	式	1				
作業項目A = 08 図面作成 対象面積(ha)B = 12			作業項目の補正(%)C = 100			

第19号 CIS0040 J14		照査(基本設計) 1式当たり単価表			分流式(汚水のみ) 対象面積12(ha)	
名称 ・ 規格 ・ 条件		単位	数 量	単 価	金 額	雑 摘 要
理事・技師長 11級		人				
主任技師 9～10級		人				
合 計		式	1			
作業項目A = 09 照査 対象面積(ha)B = 12			作業項目の補正(%)C = 100			

第20号 CIS0680 J01

設計計画(新設・詳細設計) 1式当たり単価表

マンホール形式ポンプ場(2次製品)
ポンプ場3個

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
理事・技師長 11級	人					
主任技師 9～10級	人					
合 計	式	1				
作業項目A = 01 設計計画 マンホール形式ポンプ場個数(個)B = 3		作業項目の補正(%)C = 25				

第21号 CIS0680 J02		各種計算(新設・詳細設計) 1式当たり単価表				マンホール形式ポンプ場(2次製品) ポンプ場3個	
名称 ・ 規格 ・ 条件		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
技師 (A) 8級		人					
技師 (B) 6～7級		人					
技師 (C) 4～5級		人					
合 計		式	1				
作業項目A = 02 各種計算 マンホール形式ポンプ場個数(個)B = 3			作業項目の補正(%)C = 25				

第22号	CIS0680 J03	設計図作成(新設・詳細設計) 1式当たり単価表				マンホール形式ポンプ場(2次製品) ポンプ場3個	
名称 ・ 規格 ・ 条件		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
技師 (A) 8級		人					
技師 (B) 6～7級		人					
技師 (C) 4～5級		人					
技術員 3級		人					
合 計		式	1				
作業項目A = 04 設計図作成 マンホール形式ポンプ場個数(個)B = 3				作業項目の補正(%)C = 25			

第23号 CIS0680 J04		数量計算(新設・詳細設計) 1式当たり単価表				マンホール形式ポンプ場(2次製品) ポンプ場3個	
名称 ・ 規格 ・ 条件		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
技師 (A) 8級		人					
技師 (B) 6～7級		人					
技師 (C) 4～5級		人					
合 計		式	1				
作業項目A = 05 数量計算 マンホール形式ポンプ場個数(個)B = 3				作業項目の補正(%)C = 25			

第24号 CIS0680 J05

照査(新設・詳細設計) 1式当たり単価表

マンホール形式ポンプ場(2次製品)
ポンプ場3個

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師 9～10級	人					
合 計	式	1				
作業項目A = 06 照査 マンホール形式ポンプ場個数(個)B = 3		作業項目の補正(%)C = 25				

第25号 SC102042 J09		作業計画 35点当たり単価表			4級基準点測量 伐採なし 耕地 平地	
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測量主任技師 8級	人					
測量技師 6～7級	人					
測量技師補 3級	人					
機械経費	%	2.5				
通信運搬費等	%	2.5				
材料費	%	2.0				
精度管理費	%	9.0				
合 計	点	35				
単位当り	点	1				
区分A = 01 作業計画 地域B = 05 耕地			地形C = 01 平地 伐採の有無D = 02 伐採なし			

第26号 SC102042 J10		選点 35点当たり単価表			4級基準点測量 伐採なし 耕地 平地	
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測量技師 6～7級	人					
測量技師補 3級	人					
測量助手 1級	人					
機械経費	%	2.5				
通信運搬費等	%	2.5				
材料費	%	2.0				
精度管理費	%	9.0				
合 計	点	35				
単位当り	点	1				
区分A = 02 選点 地域B = 05 耕地			地形C = 01 平地 伐採の有無D = 02 伐採なし			

観測 35点当たり単価表						
第27号 SC102042 J11		4級基準点測量 伐採なし 耕地 平地				
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測量技師 6～7級	人					
測量技師補 3級	人					
測量助手 1級	人					
機械経費	%	2.5				
通信運搬費等	%	2.5				
材料費	%	2.0				
精度管理費	%	9.0				
合 計	点	35				
単位当り	点	1				
区分A = 04 観測 地域B = 05 耕地			地形C = 01 平地 伐採の有無D = 02 伐採なし			

第28号の1 SC102042 J12

計算整理 35点当たり単価表

4級基準点測量 伐採なし
耕地 平地

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測量主任技師 8級	人					
測量技師 6～7級	人					
測量技師補 3級	人					
測量助手 1級	人					
機械経費	%	2.5				
通信運搬費等	%	2.5				
材料費	%	2.0				
精度管理費	%	9.0				
合 計	点	35				
単位当り	点	1				

第28号の2 SC102042 J12

計算整理 35点当たり単価表

4級基準点測量 伐採なし
耕地 平地

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
区分A = 05 計算整理 地域B = 05 耕地			地形C = 01 平地 伐採の有無D = 02 伐採なし			

第29号 SC104082 J07 測定設置 1km当たり単価表 路線測量 仮BM設置測量 耕地 平地						
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測量技師 6～7級	人					
測量技師補 3級	人					
測量助手 1級	人					
機械経費	%	2.5				
材料費	%	2.0				
精度管理費	%	10.0				
合 計	km	1				
区分A = 01 測定設置 地域B = 05 耕地			地形C = 01 平地 交通量D = 01 0～1,000台未満/12時間			

第30号 SC104082 J08		計算 1km当たり単価表			路線測量 仮BM設置測量 耕地 平地	
名称 ・ 規格 ・ 条件		単位	数 量	単 価	金 額	雑 摘 要
測量技師補 3級		人				
測量助手 1級		人				
機械経費		%	2.5			
材料費		%	2.0			
精度管理費		%	10.0			
合 計		km	1			
区分A = 02 計算 地域B = 05 耕地				地形C = 01 平地 交通量D = 01 0～1,000台未満/12時間		

第31号 SC104082 J09

点検整理 1km当たり単価表

路線測量 仮BM設置測量
耕地 平地

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測量技師 6～7級	人					
測量技師補 3級	人					
機械経費	%	2.5				
材料費	%	2.0				
精度管理費	%	10.0				
合 計	km	1				
区分A = 03 点検整理 地域B = 05 耕地			地形C = 01 平地 交通量D = 01 0～1,000台未満/12時間			

第32号 SC104092 J01

観測 1km当たり単価表

路線測量 縦断測量
耕地 平地

名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測量技師 6～7級	人					
測量技師補 3級	人					
測量助手 1級	人					
機械経費	%	2.5				
材料費	%	3.0				
精度管理費	%	10.0				
合 計	km	1				
区分A = 01 観測 地域B = 05 耕地			地形C = 01 平地 交通量D = 01 0～1,000台未満/12時間			

第33号 SC104092 J02				縦断面図作成 1km当たり単価表		路線測量 縦断測量 耕地 平地	
名称 ・ 規格 ・ 条件		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測量技師 6～7級		人					
測量技師補 3級		人					
測量助手 1級		人					
機械経費		%	2.5				
材料費		%	3.0				
精度管理費		%	10.0				
合 計		km	1				
区分A = 02 縦断面図作成 地域B = 05 耕地				地形C = 01 平地 交通量D = 01 0～1,000台未満/12時間			

点検整理 1km当たり単価表							路線測量 縦断測量 耕地 平地
第34号 SC104092 J03		名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑 摘 要
測量技師 6～7級			人				
測量技師補 3級			人				
機械経費			%	2.5			
材料費			%	3.0			
精度管理費			%	10.0			
合 計			km	1			
区分A = 03 点検整理 地域B = 05 耕地					地形C = 01 平地 交通量D = 01 0～1,000台未満/12時間		

観測 1km当たり単価表							路線測量 横断測量 耕地 平地
第35号 SC104102 J07	名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
	測量技師 6～7級	人					
	測量技師補 3級	人					
	測量助手 1級	人					
	機械経費	%	2.5				
	材料費	%	2.5				
	精度管理費	%	10.0				
	合 計	km	1				
	区分A = 01 観測 地域B = 05 耕地 地形C = 01 平地 交通量D = 01 0～1,000台未満/12時間		単曲線換算曲線数(箇所/km)	E = 01 0 測点間隔F = 05 100m 測量幅G = 01 45m未満			

第36号 SC104102 J08		横断面図作成 1km当たり単価表			路線測量 横断測量 耕地 平地	
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測量技師 6～7級	人					
測量技師補 3級	人					
測量助手 1級	人					
機械経費	%	2.5				
材料費	%	2.5				
精度管理費	%	10.0				
合 計	km	1				
区分A = 02 横断面図作成		単曲線換算曲線数(箇所/km)	E = 01 0			
地域B = 05 耕地		測点間隔F = 05 100m				
地形C = 01 平地		測量幅G = 01 45m未満				
交通量D = 01 0～1,000台未満/12時間						

第37号 SC104102 J09		点検整理 1km当たり単価表			路線測量 横断測量 耕地 平地	
名称 ・ 規格 ・ 条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測量技師 6～7級	人					
測量技師補 3級	人					
機械経費	%	2.5				
材料費	%	2.5				
精度管理費	%	10.0				
合 計	km	1				
区分A = 03 点検整理 地域B = 05 耕地 地形C = 01 平地 交通量D = 01 0～1,000台未満/12時間		単曲線換算曲線数(箇所/km)	E = 01 0 測点間隔F = 05 100m 測量幅G = 01 45m未満			

積 算 情 報 表

(0800001005-0)

P. 48

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	委託	*** 業務 ***	測量
変更回数	当初	[測量] 安全費率	その他
積算基準パターン	41:令和7年度国交省諸経費改訂(消費税10%)R7週休2日補正	[測量] 電子成果品作成費	2: 別途考慮
施行主体名	富谷市	[測量] 旅費交通費	0: 別途考慮
設計書名(1行目)	令和8年度 (仮称) 成田二期北土地区画整理事業に伴う下水道管路施設基本設計業務		
設計書名(2行目)			
設計書名(3行目)			
委託箇所	富谷市 市内一円 地内		
路線・河川名			
委託番号			
設計年度	令和08年度		
設計年月日	令和08年07月01日		
単価適用日付	令和08年07月01日 (93)		
単価適用地区	01 地区		
着工年月日	令和 年 月 日		
竣工期限	令和09年03月31日		
工期開始	令和 年 月 日		
工期終了	令和09年03月31日		
工期日数	0日		
*** 業務 ***	設計		
[設計] 種類(電子成果品作成費)	3: 別途考慮		
[設計] 旅費交通費	0: 別途考慮		

令和8年度（仮称）富谷市成田二期北土地区画整理事業に伴う
下水道管路施設基本設計業務

標準業務内容

（イ）管路施設実施設計業務（基本設計）

作 業 項 目	作 業 内 容	
	区 分	作 業 の 範 囲
1. 調査 1－1 資料収集 1－2 現地踏査 1－3 地下埋設物調査 1－4 公私道調査	地域特性の把握 台帳調査 台帳調査	施設・区画割平面図，流量表，幹線縦断図，既計画の調査資料，土質資料及びその他必要な資料の収集及び整理 土地利用，排水区界，道路状況，水路状況等の調査 下水道，上水道，ガス，電気，電話等の形状寸法・位置・深さ等の台帳調査 公道，私道の調査
2. 水準測量	（別途計上）	道路交点，低地部，水路底，地盤変化点等の測量
3. 設計計画		設計方針，管路の平面・縦断計画，交差計画等
4. 流量断面計算	枝線断面の算定	枝線各点の断面算定
5. 概略工法検討	主工法の検討	幹線，準幹線及びその他必要な路線の管路布設工法（開削，推進，シールド）の検討
6. 概略工法検討		区画割施設平面図，縦断図，地下埋設物調査図，公私道調査図
7. 概略工法検討		基本条件の内容確認，設計計画の妥当性，比較検討の方法及びその内容，各種計算書の適切性，各種計算書と設計図の整合性
8. 報告書作成		まとめ，概要書（位置，設計の目的，調査・計画の概要，設計計画，概略工法検討等）作成
9. 設計協議	富谷市との設計協議	設計内容の協議

業務委託標準仕様書

〔1〕一般仕様書

第1章 総則

1.1 業務の目的

本委託業務（以下「業務」という。）は，本仕様書に基づいて，特記仕様書に示す委託対象地域の工事を実施するために必要な設計図，計算書，設計書等の作成を行うことを目的とする。

1.2 一般仕様書の適用範囲

業務は，本仕様書に従い施行しなければならない。ただし，特別な仕様については，特記仕様書に定める仕様に従い施行しなければならない。

1.3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は，本仕様書に明記のないものであっても，原則として受注者の負担とする。

1.4 法令等の遵守

受注者は，業務の実施に当り，関連する法令等を遵守しなければならない。

1.5 中立性の保持

受注者は，常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

1.6 秘密の保持

受注者は，業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

1.7 公益確保の責務

受注者は、業務を行うに当っては公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することの無いように努めなければならない。

1.8 許可申請

受注者は、工事に必要な許可申請（占用許可等）に関する事務に必要な図面作成を遅滞なく行わなければならない。

1.9 提出書類

（１）受注者は、業務の着手及び完了に当って、富谷市の契約約款に定めるものの外、下記の書類を提出しなければならない。

（イ） 着手届 （ロ） 工程表 （ハ） 管理技術者・照査技術者通知書 （ニ） 職務分担表
（ホ） 完了届 （ヘ） 納品書 （ト） 業務委託料請求書等

なお、承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承認を受けるものとする。

1.10 管理技術者及び技術者

（１）受注者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。

（２）管理技術者は、技術士（総合技術監理部門（下水道、上下水道部門（下水道））又はR C C M（シビルコンサルティングマネージャ）（下水道）を有するものとし、業務の全般にわたり技術的管理を行わなければならない。なお、主要な設計協議ならびに現地調査に出席しなければならない。

（３）受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

1.11 工程管理

受注者は、工程に変更を生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

1.12 成果品の審査及び納品

（１）受注者は、成果品完成後に富谷市の審査を受けなければならない。

（２）成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、ただちに訂正しなければならない。

（３）業務の審査に合格後、成果品一式を納品し、富谷市の検査員の検査をもって、業務の完了とする。

（４）業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務のかしが発見された場合、受注者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

1.13 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれに当り、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

1.14 証明書の交付

必要な証明書及び申請書の交付は、受注者の申請による。

1.15 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については、富谷市、受注者協議の上、これを定める。

第2章 調査

2.1 資料の収集

業務上必要な資料、地下埋設物及びその他の支障物件（電柱、架空線等）については、関係官公署、企業者等において将来計画を含め十分調査しなければならない。

2.2 現地踏査

特記仕様書に示された設計対象区域について踏査し、地勢、土地利用、排水区界、道路状況、水路状況等現地を十分に把握しなければならない。

2.3 地下埋設物調査

特記仕様書に示された設計対象区域について、水道、下水道、ガス、電気、電話等地下埋設物の種類、位置、形状、深さ、構造等をそれらの管理者が有する資料と照合し、確認しなければならない。

2.4 公私道調査

道路、水路等について公図並びに土地台帳により調査確認しなければならない。

2.5 在来管調査

在来管調査は、2.3 地下埋設物調査で行う範囲を超える調査であり、管路、マンホール及びますの老朽度、堆積物の状況、破損の状態、構造、底高等現地作業を伴うものをいう。当該調査は別途計上とする。

2.6 既設管調査

管路内調査は、TVカメラ調査又は潜行目視調査、劣化度調査図書に基づき管内にて管きよの劣化状況や堆積物等の有無を把握する調査であり、管きよの老朽度、堆積物の状況、破損の状態、構造、支障物件の状況等現地調査を伴うものをいう。TVカメラ調査又は潜行目視調査、劣化度調査は別途計上とする。

また、測量調査によって既設管きよ及びマンホールの諸元を確認しなければならない。

2.7 現場環境調査

道路状況、周辺状況を現地にて把握し、工事の実施における制約条件を確認しなければならない。

第3章 設計一般

3.1 打合せ

- (1) 業務の実施に当って、受注者は 富谷市 と密接な連絡を取り、その連絡事項をそのつど記録し、打合せの際、相互に確認しなければならない。
- (2) 設計業務着手時及び設計業務の主要な区切りにおいて、受注者と 富谷市 は打合せを行うものとし、その結果を記録し、相互に確認しなければならない。

3.2 設計基準等

設計に当っては、 富谷市 の指示する図書及び本仕様書第8章参考図書に基づき、設計を行う上でその基準となる事項について 富谷市 と協議の上、定めるものとする。

3.3 設計上の疑義

設計上疑義の生じた場合は、 富谷市 との協議の上、これらの解決にあたらなければならない。

3.4 設計の資料

設計の計算根拠、資料等はすべて明確にし、整理して提出しなければならない。

3.5 事業計画図書の確認

受注者は、第2章調査の各項の調査等と併せて、設計対象区域にかかる事業計画図書の確認をしなければならない。

3.6 参考資料の貸与

富谷市 は、業務に必要な下水道事業計画図書、測量、土質調査資料、既設管資料、在来管資料、道路台帳、地下埋設物調査、下水道標準構造図等の資料を所定の手続によって貸与する。

3.7 参考文献等の明記

業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記しなければならない。

第4章 設計細則（基本設計）

4.1 設計図の作成

主要な設計図は、下記により作成することとし、図面完成時には、富谷市の承認を受けなければならない。

(1) 位置図（ $S=1/10,000\sim 1/30,000$ ）は地形図に設計区域又は設計区間を記入する。

(2) 区画割施設平面図

区画割施設平面図（ $S=1/2,500$ ）は、事業計画において作成した区画割図面に基づいて枝線の区画割を行い、設計区域又は設計区間の区間番号、形状、管径、勾配、区間距離、区画の面積及び幹線・排水区又は処理区等の名称を記入すること。

(3) 縦断面図（ $S=$ 縦 $1/100$ 、横 $1/2,500$ ）は、区画割施設平面図と同一記号を用いて次の事項を記入すること。管きよの位置、平面図との対照番号、形状、管径、勾配、区間距離、地盤高、管底高、土被り及び河川、鉄道、国道等の位置と名称、位置・形状、寸法等及び河川の現在と計画の底高、高水位並びに幹線、処理区等の名称を記入すること。

(4) 流量計算表

流量計算表は、事業計画において作成された流量表に基づいて、管きよの断面、勾配を決定し、起終点の管底高、地盤高、土被り、流入管記号を記入すること。

(5) 流量計算表

概略構造図（ $S=1/50\sim 1/100$ ）は、次の要領で作成する。

富谷市の下水道標準構造図によるものは作成を要しないが、次のような特殊構造のものは、縦断面図と同一記号を用いて図面を作成する。

特殊なマンホール、接続室、雨水吐室及び吐口、伏越等特に構造図を必要とするものについて概略の形状図を作成する。

4.2 概略工法検討

概略工法検討業務は、設計対象路線の管路布設工法（開削、推進、シールド）の選定を行うものである。ただし、個別詳細な工法の検討は詳細設計で行うものとする。

4.3 報告書

報告書は、当該設計に係るとりまとめの概要書を作成するものとし、その内容は、位置、設計の目的、調査・計画の概要、設計計画、概略工法検討等を集成するものとする。

第5章 設計細則（新設及び改築・詳細設計）

5.1 設計図の作成

主要な設計図は、下記により作成することとし、図面完成時には、富谷市の承認を受けなければならない。

(1) 位置図

位置図（ $S=1/10,000\sim 1/30,000$ ）は地形図に施工箇所を記入する。

(2) 系統図

系統図（ $S=1/2,500$ ）は、地形図に設計区間を記入する。

(3) 平面図

平面図（ $S=1/500$ ）は、測量による平面図及び道路台帳に基づいて、設計区間の占用位置、マンホール及び立坑の位置・管きよの区間番号、形状、管径、勾配、区間距離及び管きよの名称等を記入する。

(4) 詳細平面図

詳細平面図（ $S=1/50\sim 1/100$ ）は主要な地下埋設物さくそう箇所、重要構造物近接箇所及び河川、鉄道、国道等横断箇所等特に詳細図を必要とし、富谷市が指示する場合に平面図及び横断面図を作成する。

(5) 縦断面図

縦断面図（ $S=縦1/100$ ，横 $1/500$ ）は，平面図と同一記号を用いて次の事項を記入する。

管きよの位置，平面図との対照番号，形状，管径，勾配，区間距離，地盤高，管底高，土被り，マンホールの種別及び河川，鉄道，国道等の位置と名称，流入及び交差する管きよの位置，番号，形状，管径，管底高，主要な地下埋設物の名称，位置，形状，寸法等及び管きよの名称等を記入する。

(6) 横断面図

横断面図（ $S=1/50\sim1/100$ ）は，平面図と同一記号を用いて次の事項を記入する。

管きよの位置，平面図との対照番号，形状，管径，地盤高，管底高及び必要な地下埋設物の名称，位置，形状，寸法等及び管きよの名称又は横断位置の名称等を記入する。

(7) 構造図

構造図（ $S=1/10\sim1/100$ ）は，次の要領で記入する。

富谷市の下水道標準構造図によるものは作成を要しないが，次のような特殊構造のものは縦断面図と同一記号を用いて構造図を作成する。

特殊な布設構造図，接続室，雨水吐室及び吐口，伏越，特殊な形状のマンホール及びます等特に構造図を必要とし，仕様書に明記されているもの。

(8) 仮設図

仮設図（ $S=1/10\sim1/100$ ）は，次の要領で記入する。

仮設図は，構造図と同一記号を用いて作成する。

設計図には，掘削幅，長さ，深さ，地盤高，床堀高及び使用する材料の位置，名称，形状，寸法，他の地下埋設物防護工並びに補助工法の範囲，名称等を記入する。

5.2 各種計算

管きよ，管基礎，推進力及び構造計算，仮設計算，補助工法，耐震設計等の計算に当たっては，富谷市と十分打合せの上，計算方針を確認して行わなければならない。

5.3 数量計算

土工，管，管基礎，覆工等及び構造物，仮設，補助工法，事前事後処理等材料別に数量を算出する。

5.4 報告書

報告書は，当該設計に係るとりまとめの概要書を作成するものとし，その内容は，設計の目的・概要・位置，設計項目，設計条件，土質条件，埋設物状況，施工方法，工程表等を集成するものとする。

第6章 照査

6.1 照査の目的

受注者は業務を施行する上で技術資料等の諸情報を活用し，十分な比較検討を行うことにより，業務の高い質を確保することに努めるとともに，さらに照査を実施し，設計図書に誤りがないよう努めなければならない。

6.2 照査の体制

受注者は遺漏なき照査を実施するため，相当な技術経験を有する照査技術者を配置しなければならない。

なお，照査技術者と管理技術者は兼務できないものとする。

6.3 照査事項

受注者は設計全般にわたり，以下に示す事項について照査を実施しなければならない。

- (1) 基本条件の確認内容について
- (2) 比較検討の方法及びその内容について
- (3) 設計計画（設計方針及び設計手法）の妥当性について
- (4) 計算書（構造計算書，容量計算書，数量計算書，耐震設計計算書等をいう。）について
- (5) 計算書と設計図の整合性について

第7章 提出図書

7.1 提出図書

提出図書は次項により、提出しなければならない。

7.2 実施設計関係提出図書（基本設計）

図書名	縮 尺	形状寸法・提出部数
(1) 位置図	1/10,000～1/30,000	原図一式・白焼き3部
(2) 区画割施設平面図	1/2,500	〃
(3) 縦断面図	縦 1/100, 横 1/2,500	〃
(4) 流量計算表		A4又はA3・3部
(5) 概略構造図	1/10～1/100	原図1式・白焼き3部
(6) 概略工法検討書		A4・3部
(7) 報告書		〃
(8) 打合せ議事録		〃
(9) その他参考資料（地下埋設物調査資料他）		原稿一式

7.3 実施設計関係提出図書（詳細設計）

図書名	縮 尺	形状寸法・提出部数
(1) 位置図	1/10,000～1/30,000	原図一式・白焼き3部
(2) 系統図	1/2,000～1/3,000	〃
(3) 施設平面図	1/300～1/500	〃
(4) 詳細平面図	1/100～1/300	〃
(5) 縦断面図	縦 1/100, 横 1/300～1/500	〃
(6) 横断面図	1/50～1/100	〃
(7) 構造図	1/10～1/100	〃
(8) 仮設図	1/10～1/100	〃
(9) 水理計算書		A4・3部
(10) 構造計算書（耐震設計計算書を含む）		A4又はA3・3部
(11) 数量計算書		A4・3部
(12) 報告書		〃
(13) 特記仕様書		〃
(14) 打合せ議事録		〃
(15) その他の資料		原稿一式

設計に伴って収集・調査した資料及びその他申請等に関する資料

※図面データを提出する際は、JWW・DXF・PDFの3つの形式すべてを提出すること。

第8章 参考図書

8.1 参考図書

業務は、下記に掲げる最新版図書を参考にして行うものとする。

Ⅳ

- (1) 富谷市 の下水道構造標準図
- (2) 富谷市 の下水道設計基準
- (3) 富谷市 の道路埋設標準定規
- (4) 下水道施設計画・設計指針と解説（日本下水道協会）

- (5) 下水道維持管理指針（日本下水道協会）
- (6) 小規模下水道計画・設計・維持管理指針と解説（日本下水道協会）
- (7) 下水道管路施設設計の手引（日本下水道協会）
- (8) 下水道施設の耐震対策指針と解説（日本下水道協会）
- (9) 下水道施設耐震計算例－管路施設編（日本下水道協会）
- (10) 下水道推進工法の指針と解説（日本下水道協会）
- (11) 管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン（日本下水道協会）
- (12) 下水道マンホール安全対策の手引き（案）（日本下水道協会）
- (13) 水理公式集（土木学会）
- (14) コンクリート標準示方書（土木学会）
- (15) トンネル標準示方書（シールド工法編）・同解説（土木学会）
- (16) トンネル標準示方書（山岳工法編）・同解説（土木学会）
- (17) トンネル標準示方書（開削工法編）・同解説（土木学会）
- (18) 道路技術基準通達集（国土交通省）
- (19) 道路構造令の解説と運用（日本道路協会）
- (20) 道路土工－仮設構造物工指針（日本道路協会）
- (21) 道路土工－擁壁工指針（日本道路協会）
- (22) 道路土工－カルバート工指針（日本道路協会）
- (23) 共同溝設計指針（日本道路協会）
- (24) 道路橋示方書・同解説（日本道路協会）
- (25) 水門鉄管技術基準（電力土木技術協会）
- (26) 改訂新版建設省河川砂防技術基準（案）同解説（日本河川協会）
- (27) 港湾の施設の技術上の基準・同解説（日本港湾協会）

〔2〕特記仕様書

1. 特記仕様書の適用範囲

この仕様書は「管路施設実施設計業務委託一般仕様書」の第 1 章 1.1 及び 1.2 に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は、前記一般仕様書による。

2. 業務の対象

（１） 名称

（２） 位置 （別途図面のとおりに）

（３） 排水面積 約 202.2ha

（４） 設計条件項目

別紙設計条件項目表（参考）による。

3. その他特記事項

設計条件項目表（参考）

設 計 条 件 項 目 表	
項 目	設 計 条 件
工 期	令和 年 月 日 ～ 令和 9 年 3 月 3 1 日
場 所	富谷市 市内一円 地内
基 本 設 計	管路施設 A=12ha (2,400m×50m=120,000m ²) 、 マンホール形式ポンプ場 N=3箇所 想定
排 除 方 式	分流式 12ha
報 告 書 作 成	有り
設 計 協 議	初回、中間、最終打合せ 各1 回

位置図

